了解しました。指摘が「該当ステップが漏れているので見直してください」という内容だったことを踏まえ、状況を再整理します。以下の経緯と仮定に基づいて対応を提案します：

**状況の整理**

* **経緯**:
  + 本来、インプットファイルをFTPで転送せずにテストを実施すべきだったが、テスト手順に「該当ステップ」（おそらくインプットファイルの準備や特定のテスト手順）が漏れていた。
  + 指摘を受け、急遽インプットファイルをFTPでアップロードしたが、誤った転送モード（例: テキストファイルをバイナリモードで転送）を使用。
  + その結果、改行コード（CRLFやLF）が変わり、テスト結果が異常になり、誤ってバグとして報告してしまった。
* **指摘の意図**:
  + 「該当ステップが漏れている」という指摘は、テスト手順の不備（例: インプットファイルの準備や確認手順の欠落）を修正するよう求めていた。
  + しかし、指摘への対応として不適切にFTP転送を追加し、問題を複雑化した。

**対応手順**

以下のステップで、誤報告の修正と指摘への適切な対応を行います。

**1. 誤ったバグ報告の修正**

* **バグ管理システムの更新**:
  + バグ報告を編集し、誤報告だったことを明確に記載。
  + 例: 「誤ってFTPでインプットファイルをバイナリモードで転送し、改行コードが変化。テスト手順の漏れを補うための誤った対応が原因。コードにバグなし。」
  + 正しいテスト手順（転送不要）で再テストした結果を追記。
* **関係者への連絡**:
  + バグをレビューするチームや指摘者に、誤報告だったことを簡潔に説明。
  + 例: メールやチャットで「指摘対応時に誤ったFTP転送を行い、異常結果をバグと誤認しました。正しい手順で再テスト済み、問題なし。」
* **テストの再実行**:
  + インプットファイルを転送せず、元のテスト手順で該当機能を確認。
  + 必要なら、正しい転送モード（テキストはASCII、バイナリはバイナリ）でファイルを再アップロードし、結果を検証。

**2. 指摘への対応（漏れたステップの見直し）**

* **漏れたステップの特定**:
  + 指摘者が指す「該当ステップ」を明確化。例:
    - インプットファイルの準備（ローカルでの配置や生成）。
    - テスト前のファイル内容確認（改行コードやデータ整合性）。
    - 特定のテストケースの実行。
  + 指摘者に直接確認するか、テスト計画書や手順書を参照して不足部分を洗い出す。
* **テスト手順の修正**:
  + 漏れていたステップをテスト手順に追加。
  + 例: 「テスト実行前にインプットファイルの改行コードをLFに統一」「ローカル環境でファイル配置を確認」。
* **手順の検証**:
  + 修正したテスト手順で再度テストを実施し、結果が正常か確認。
  + 必要なら、指摘者に修正内容をレビューしてもらう。

**3. 問題の原因分析**

* **FTP転送の誤り**:
  + 誤った転送モードを選んだ原因を特定（例: 急いで対応した、ツールの設定ミス）。
  + 使用したFTPツール（例: FileZilla、コマンドライン）の設定を確認。
* **ステップ漏れの原因**:
  + テスト手順書が不十分、または更新されていなかった。
  + チーム内での手順共有やレビューが不足していた。
* **指摘対応の不備**:
  + 指摘の意図を十分に理解せず、不要なFTP転送を追加した。

**4. 再発防止策**

* **テスト手順の標準化**:
  + テスト手順書を更新し、必須ステップ（インプットファイルの準備、確認手順）を明記。
  + 例: 「インプットファイルはローカル環境で準備。FTP転送は不要。」
* **FTP転送のルール**:
  + 転送が必要な場合、モードを正しく設定（テキストはASCII、バイナリはバイナリ）。
  + FTPツールのデフォルト設定を「自動」にし、拡張子に応じたモード選択を有効化。
* **テスト前のチェック**:
  + ファイル転送や準備後に、改行コードや内容の整合性を確認。
  + 例: diffやsha256sumでオリジナルと比較。
* **指摘対応プロセス**:
  + 指摘を受けた際、変更前に意図をチームで確認。
  + 例: 「指摘に基づく手順変更は、リーダーと協議後実施。」
* **チーム共有**:
  + 今回の誤り（ステップ漏れ、FTPミス、誤報告）をチームで共有。
  + 例: 短時間のミーティングで「テスト手順の確認不足とFTP転送ミスの影響」を説明。

**5. 具体的なアクション例**

* **テスト手順の修正例**:

text

コピー

ステップ3: インプットファイル準備

- ローカル環境にfile.txtを配置。

- 改行コードをLFに統一（例: `dos2unix file.txt`）。

- 内容を`sha256sum`で検証。

ステップ4: テスト実行

- FTP転送せず、ローカルファイルを使用。

* **FTP設定例**（必要な場合）:
  + FileZilla: 転送 > 転送タイプ > 自動。
  + コマンドライン:

bash

コピー

ftp> ascii

ftp> put file.txt

* **バグ報告コメント例**:

text

コピー

誤報告: テスト手順の漏れ（インプットファイル準備）への対応中、誤ってFTPでバイナリモード転送し改行コードが変化。元のローカルファイルで再テストし、問題なし。テスト手順を修正済み。

**6. 追加の質問**

* **指摘の詳細**: 「該当ステップ」とは具体的にどの部分を指しているか（例: ファイル準備、テストケース）？詳細が分かると、修正案をさらに具体化できます。
* **環境情報**: 使用したFTPツール、OS（Windows/Unix）、インプットファイルの種類（テキスト/バイナリ）を教えていただけますか？
* **優先事項**: バグ報告の修正以外に、指摘者への説明やテスト手順のレビューで特に気をつけたい点はありますか？

これで誤報告を修正し、指摘されたステップ漏れに対応できます。追加情報や具体的な支援が必要なら、ぜひ教えてください！